

内水浸水想定区域 (想定最大規模) はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量**153mm**としています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

出典データ

背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本図データ (地図レベル2500) により作成
内水浸水想定区域	下水道河川局 瀬谷区内水浸水想定区域 (令和3年4月)
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域 (令和7年7月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域 (令和7年7月現在)

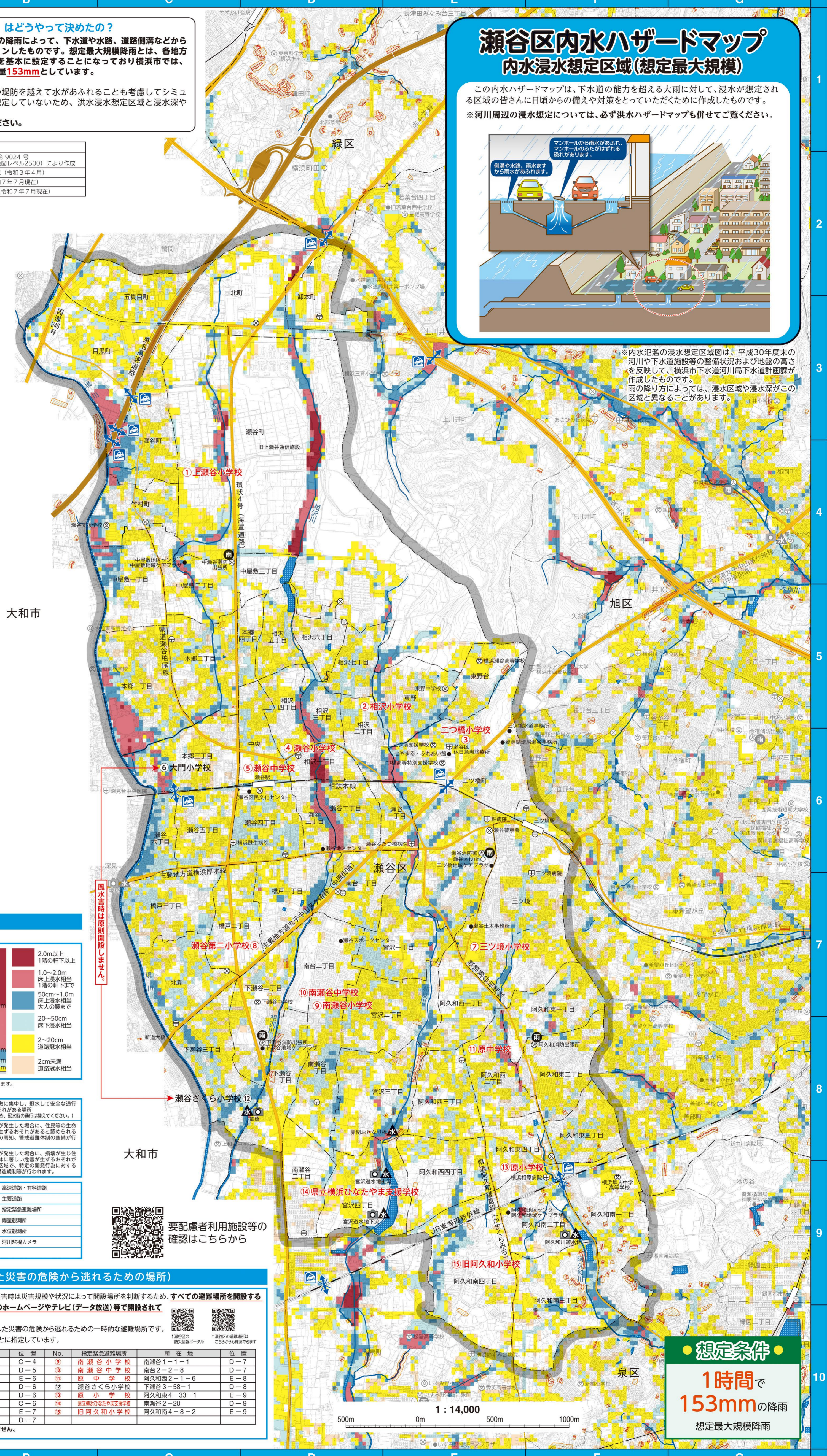
瀬谷区内水ハザードマップ 内水浸水想定区域 (想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

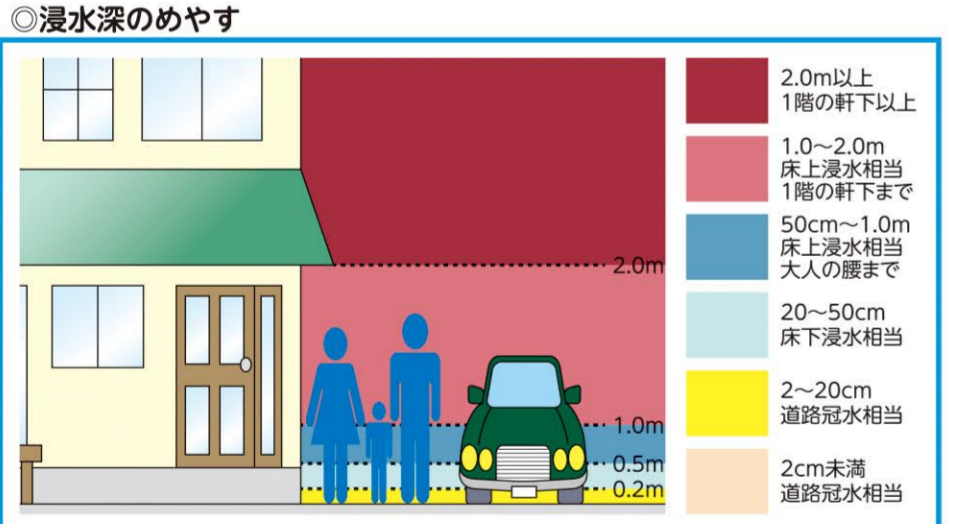
マンホールから雨水があふれ、マンホールの水位がはしる恐れがあります。

側溝や水路、雨水ますから雨水があふれます。

※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市下水道河川局下水道計画課が作成したものです。雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。



凡例 (Explanatory Notes)



◎避難する際に注意する箇所

	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 (進入すると危険なため、冠水の時は控えてください。)
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危険が生ずるおそれがある認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危険が生ずるおそれがある認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

	都県界		高速道路・有料道路
	市区界		主要道路
	町丁目界		指定緊急避難場所
	JR線・駅		雨量観測所
	私鉄線・駅		水位観測所
	市営地下鉄線・駅		河川監視カメラ
	河川、遊水池		

指定緊急避難場所一覧 (切迫した災害の危険から逃れるための場所)

指定緊急避難場所とはあくまで避難場所の候補であり、災害時は災害規模や状況によって開設場所を判断するため、すべての避難場所を開設するわけではありませんので、避難する際は、必ず、市区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

※指定緊急避難場所(災害対策基本法に基づいた、切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。災害種別(洪水や土砂災害など)ごとに指定しています。)

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置	No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
①	上瀬谷小学校	瀬谷町 7140	C-4	⑩	南瀬谷小学校	南瀬谷 1-1-1	D-7
②	相沢小学校	相沢 2-56-1	D-5	⑪	南瀬谷中学校	南台 2-2-8	D-7
③	二ツ橋小学校	二ツ橋町 507	E-6	⑫	原中学校	阿久和西 2-1-6	E-8
④	瀬谷小学校	相沢 4-1-1	D-6	⑬	瀬谷さくら小学校	下瀬谷 3-58-1	D-8
⑤	瀬谷中学校	中央 5-41	D-6	⑭	原小学校	阿久和東 4-33-1	E-9
⑥	大門小学校	本郷 3-47-5	C-6	⑮	県立横浜ひなたやま支援学校	南瀬谷 2-20	D-9
⑦	三ツ境小学校	三ツ境 157	E-7	⑯	旧阿久和小学校	阿久和南 4-8-2	E-9
⑧	瀬谷第二小学校	橋戸 2-41-1	D-7				

※⑥大門小学校・⑫瀬谷さくら小学校は、原則として開設しません。

想定条件
1時間で
153mmの降雨
想定最大規模降雨

